

# 岩手県から北海道へ

氏名 水車 明子

岩手県立盛岡第四高等学校 → 北海道北広島高等学校  
(期間：平成30年4月1日～平成32年3月31日)

## 1 岩手県の英語教育

### ●全ての高校に年一度訪問指導

岩手県では指導主事が年に一度全ての高校に県立学校訪問指導を行っている。指導主事が訪問する授業や授業後の研究会では授業者以外の英語科の職員もできる限り参加し、岩手の目指す授業について共有する機会となっている。

### ●指導主事による英語科通信の発行

平成30年度から、指導主事が月に一度のペースで岩手県立学校英語科全職員に英語科通信を発行している。通信では、岩手県の方針や、英語教育実施状況調査から見える岩手県の英語教育の課題と授業改善のための情報提供、ワークショップや、訪問指導のアンケートなどを載せている。

### ●パフォーマンステストの取り組み

岩手県教育委員会では、年度初めにパフォーマンステストの計画書の提出を求めている。その効果からか、パフォーマンステスト実施回数は格段に岩手の方が高い。下記の表は岩手県と北海道の高等学校のパフォーマンス実施状況である。尚、このデータは両教育委員会がHPで発表しているものである。

2017年度現状 * ( )内は2018年度の目標値	岩手	北海道
英語表現Ⅱ ライティングテスト	5回(7)	0.8回(2.5)
英語コミュニケーションⅡ スピーキングテスト	6回(7)	2.3回(2.5)

## 2 学校や地域の特色ある教育活動

### ●互見授業（盛岡第四高校）

教員の指導力向上を目指し、全職員が他の教員の授業を参観することを義務づけている。盛岡第四高校では、互見授業週間を2週間と定め、その期間内に自分が担当する教科と他教科の授業参観を最低2回行うことになっている。常時参観を受け入れている教科もある。

### ●観点別評価（岩手県内の県立高校）

岩手県では平成29年度より全ての県立高校で観点別学習状況による成績通知を実施している。下記は岩手県における授業改善・学習評価の改善の取組についての報告書から抜粋した資料である。

<観点別評価の成果>

- 授業改善が進んでいる
- 授業内容の計画と評価計画が同時→授業ポイントの明確化
- 指導と評価の一体化
- 4観点が評価できるバランスのとれた授業
- 生徒の多面的な理解の促進
- 生徒の自己理解（苦手分野等）につながっている
- 生徒の授業への取組の向上につながっている
- 評価は期末考査だけではない

### 3 私が取り組んできた実践

○所属校の盛岡第四高等学校では、パフォーマンステストを複数回実施した。2016 年度に実施したパフォーマンステストの内容は下記の通りである。

#### 第1学年 英語科 パフォーマンステスト計画

##### 【コミュニケーション英語 I】

※使用教科書：Perspective English Communication I（第一学習社）

学期	履修単元	パフォーマンステスト
1	Lesson1 Cultures Go Around the World	スピーキング セールスマンになって日本のアイテムを海外で売り込む。（日本文化の説明）
	Lesson2 We Can All Make a Difference	スピーキング ライオンになりきり、井戸の普及を促進するスピーチを行う。
2	Lesson 3 Living in Peace and Harmony with Nature	プレゼンテーション 自然との共生を訴えるポスターを絵と英文を用いて作成し、説明する。
	Lesson 4 A Piece of Cloth	プレゼンテーション 広島でのオバマ大統領のスピーチを聞き、自分が被爆者である場合オバマ大統領にどのように声をかけるかを英語で考え発表する。
3	Lesson 5 What “The Last Supper” Tells Us	ライティング 3日間の食事を記録し、自分の食習慣についての改善点や長所を英語 80 語程度で書く。
	Lesson 7 One Team, One Country	スキット 登場人物になりきり、ラグビーチーム「スプリングボックス」が優勝した瞬間などの場面を演じる。5 人一組、台本も作成。
4	Lesson 8 To Protect or To Develop?	ディベート（グループワーク） 森林を伐採し、ホテルを作るとしたら、賛成か、反対か話し合う。

パフォーマンステストの課題としては評価に時間がかかること、授業担当者が複数いる場合、評価に若干のずれが起こること等が挙げられる。今後はこれらの課題を克服しつつ、基本的文法事項を定着させながらより精度が高い自己表現活動をさせること、自己評価等を通して生徒の意欲の向上につなげることを目標としたい。